

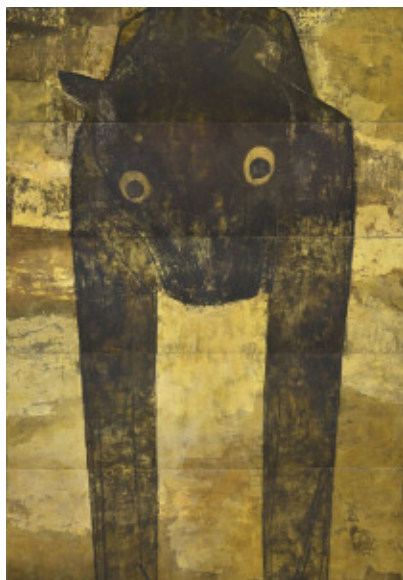
# 長沢明展 オワリノナイフーケイ

AKIRA NAGASAWA | AN ENDLESS LANDSCAPE

展覧会 2020年4月25日(土)～6月7日(日) 開場式・内覧会 4月24日(金) 14時～

新潟市北区出身、日本画を出発点に、国内外で活躍する気鋭の画家・長沢明。  
作家初となる大規模個展を、故郷新潟で開催。

初期から最新作まで、初公開のドローイングから3mを超える大作群、  
平面・立体・インスタレーションをとりまぜて、作家の追い求める「風景」を展望します。



初めて見る風景に出会ったとき、強烈な懐かしさを感じることもある。忘れていたものを思い起こさせられるようなもどかしい感覚だ。ものをつくるときには、その感覚が何であるのか呑込めるように思うのだが、言葉にしようとするほどにモヤモヤだけが残り、どうしても説明がつかない。むしろ、何も云わないほうが潔いとさえ思う。そうしてつくってきた作品で、一つの風景を創る。遠い昔や未来の誰かが、変わらぬ同じ風景を眺めながら、もどかしがっている。例えるなら、そんな風景だ。

— 展覧会によせて 長沢 明

① 《マウンテンII》2007年、個人蔵 460×320cm

## 長沢 明 ながさわ・あきら プロフィール

- 1967 新潟県豊栄市（現新潟市北区）生まれ  
新潟市立葛塚小学校、葛塚中学校、新潟県立新発田高校を卒業
- 1994 東京藝術大学大学院日本画科修了  
第5回柏市文化フォーラム 104大賞展-TAMON 賞大賞受賞、渡米
- 1997 五島記念文化賞 美術新人賞受賞、98年まで研修のため渡英
- 2004 平成15-16年度文化庁買上優秀美術作品
- 2004 東北芸術工科大学美術科にて教鞭をとる（～現在）
- 2005 「VOCA展2005」（上野の森美術館）
- 2006 「MOT アニュアル No Border 「日本画」から／「日本画」へ」（東京都現代美術館）
- 2008 MOA岡田茂吉賞絵画部門優秀賞
- 2017 「詩情の森 語りかたられる空間」（KAAT 神奈川芸術劇場）
- 2019 初の絵本『あおいトラ』（福音館書店 月刊「こどものとも」）を刊行



②作家近影

## みどころ 1 代表作が勢ぞろい、 スケールの大きな展示

③ 《ブルーバード》2013年  
183×368cm



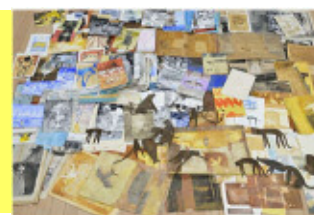
④ 《セイメイノキ》2018年、個人蔵  
276×183cm

そびえたつ巨大なトラ、大きく翼を広げるトリ、悠々と泳ぐクジラ…長沢のアイコン的な大作が並びます。古本を使ったダイナミックな立体作品や、作家渾身の新作によるインスタレーションまで、空間ごとにガラリとイメージの変わる構成も見逃せません。企画展示室のみならず、常設展示室の一部にも特別展示。作品が響き合って大きな物語を紡ぎ出す雄大な空間をお楽しみください。



⑤ 《Mother》2015年  
公益財団法人蟹仙堂蔵  
400×464cm

## みどころ 2 制作の源泉ドローイング初公開 &新潟だけ！の特別展示も



⑥ ドローイング

切り絵などユニークな手法によるドローイングも初公開、制作の秘密に迫ります。また、横須賀美術館と共同開催される本展ですが、新潟会場限定公開の作品も必見。初期の《鳥に舟》、昨年末に刊行されたばかりの初の絵本『あおイトラ』原画など、見ごたえたっぷり、おとなも子どもも楽しめる幅広い仕事ぶりを紹介します。



絵本『あおイトラ』福音館書店、2019年

現在は山形在住の作家も故郷での展覧会に駆けつけます。画業を語る講演会から、制作を追体験できるワークショップまで。制作秘話に触れるチャンス！

詳細は美術館ホームページや Facebook をチェック。

## みどころ 3 長沢明さんも登場！ 各種イベント開催

## 基本情報

展覧会名 「長沢明展 オワリノナイフークエイ」  
会場 新潟市美術館 企画展示室＋常設展示室の一部  
会期 2020年4月25日(土)～6月7日(日)  
開場式 4月24日(金)午後2時～  
開館時間 午前9時30分～午後6時  
(券売は閉館30分前まで)

休館日 月曜日(5月4日は開館、5月7日(木)休館)  
観覧料 一般 1,000円(800円)  
大学・高校生 800円(600円)  
中学生以下無料

\* 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は無料

\* ( )は、20名以上の団体、リピーター割引料金

主催 新潟市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会  
共催 TeNY テレビ新潟  
協賛 ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、福音館書店  
協力 ガレリア・グラフィカ  
制作協力 フォーティス、三省堂印刷、東北芸術工科大学  
お問合せ先 新潟市美術館(担当:荒井直美)  
〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9  
TEL:025-223-1622 FAX:025-228-3051 E-mail:museum@city.niigata.lg.jp



⑦ 《トララララ…》2008年  
塚崎雅雄氏蔵  
145.5×184.5cm

## 関連イベント

### 1 アーティストトーク

出演:長沢明さん(美術家)

日時:5月24日(日)午後3時～4時30分 会場:当館2階講堂 聴講無料(事前申込不要・先着100名)

### 2 ワークショップ「トラノコのいるフークエイ」

講師:長沢明さん(美術家)

日時:5月10日(日)午後2時～4時 会場:新潟市美術館 実習室+展示室

対象:小学生以上(小学1～3年生は保護者同伴)定員:20名 材料費:500円 高校生以上は別途企画展観覧料

\*市役所「かんたん申込み」フォームから。または往復はがきに①参加者全員の氏名(1通につき4名まで)、②年齢か学年、③代表者の住所、④電話番号を記入し、美術館(〒951-8556 新潟市美術館「長沢展」係)まで郵送下さい。(4/28(火)18:00必着) 詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

### 3 ギャラリートーク(当館学芸員による解説)

日時:5月17日(日)、5月31日(日)各日午後2時から2時30分 \*要当日観覧券\*直接企画展示室へお越し下さい

★本リリースに掲載の画像①～⑦は、本展をご紹介いただける場合にかぎり、すべてデータで提供可能です。画像に記したクレジット(サイズを除く)を必ず明記ください。また作品部分のトリミング、文字載せなどはしないようにお願いします。

# 長沢 明 展 オワリノナイフーケイ

開場式取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書 (FAX 専用)

**FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛**

- ◆開場式（2020年4月24日午後2時～）の取材、記事掲載時の作品写真（画像データ）及び、読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は1媒体につき10組20名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限らせていただきます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。
- ◆掲載された媒体は、1部ご恵与ください。

○をおつけください	取材希望 ・ チケットプレゼント希望 ・ 記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス (データ送付先)	
ご媒体名	
取材予定日	4月24日開場式・開場式以降 ( 月 日 時頃) ・取材予定なし
取材スタッフ	計 名 (内カメラクルー 名)
掲載・放映予定日	月 日
チケットプレゼント希望	組 枚 ※1媒体につき10組20名様まで
通信欄 ※画像を希望する場合は、該当する 画像の番号を記してください。	